

3. 5 社会福祉学専攻

(1) 教育課程

社会福祉学専攻の教育課程は、教育方針に従いながら専門の知識と技術を教授すると共に、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い豊かな人間性を涵養することをねらいとして、専門共通科目と2領域(生活支援領域、自立支援領域)の専門科目から構成されている。

社会福祉学専攻 教育課程(カリキュラム)		概 要
専門共通科目		保健福祉学の基礎理論や関連諸科学の専門的知識を修得する。 1年次から4年次までの小グループによる一貫教育を通して、研究方法を修得すると共に、卒業論文の執筆にむけた指導を行う。
専門 科目	生活支援領域科目	主に、社会福祉士に必要な社会福祉学の専門的知識及びソーシャルワークの方法・技術を修得する。加えて、精神保健福祉士やスクールソーシャルワーカーに求められる専門的知識及び方法・技術を修得する。
	自立支援領域科目	主に、介護福祉士に必要な介護福祉学の専門的知識及びケアワークの方法・技術を修得する。

(2) 履修上の留意点

社会福祉学専攻における学部教育科目は、資格取得のための科目と、スペシャリストとして必要な専門基礎に関する科目及びより専門性を高めるための科目からなる。将来の進路としては、社会福祉行政、児童施設、高齢者施設、障害者施設、病院、教育機関、教育行政、福祉関連企業などがある。履修計画では、このことを考えて、必修科目や資格取得科目だけでなく、専門分野に沿った選択科目を幅広く履修し、専門職としての見識や能力をより高めるようにする。

ただし、表2～表4に定める科目は、そのコース以外の学生は履修できない。

(3) 研究ゼミナールの履修要件

4年次には必修科目として、卒業論文に取り組むための「研究ゼミナール」を課している。「研究ゼミナール」の履修要件は、4年次に、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位(共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位)を満たすものとする。

(4)社会福祉学専攻 授業科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
			1	2	3	4				
専 門 共 通 科 目	保健福祉学入門	講義	中村・村社	◎				30	2	96 単 位
	社会福祉原論	講義	井村	◎				30	2	
	地域福祉論	講義	井村		○			30	2	
	社会保障論Ⅰ	講義	岩満	○				30	2	
	高齢者福祉論Ⅰ	講義	桐野	○				30	2	
	障害者福祉論	講義	大倉	○				30	2	
	児童福祉論Ⅰ	講義	周防	○				30	2	
	児童福祉論Ⅱ	講義	周防		○			30	2	
	社会福祉施設経営論	講義	井上(祐)			○		30	2	
	ソーシャルワーク論	講義	村社	◎				30	2	
	人体の構造と機能Ⅰ	講義	藤井	◎				30	2	
	身体機能と障害	講義	中村・高戸		○			30	2	
	知的発達と障害	講義	中村		○			30	2	
	教育基礎論	講義	山本(孝)	○				30	2	
	臨床心理学	講義	樂木			○		30	2	
	地域保健福祉演習	演習	坂野・佐々木(純)・久保田・ 関根・デスマレス			○		30	1	
	入門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員	◎				30	1	
	基礎ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員		◎			30	1	
	専門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員			◎		30	1	
	研究ゼミナール	演習	学科教員				◎	120	4	
専 門 科 目 域	社会理論と社会システム	講義	近藤	◎				30	2	
	発達心理学	講義	樂木		○			30	2	
	公衆衛生	講義	藤井		○			30	2	
	社会病理学	講義	近藤		○			30	2	
	社会福祉発達史	講義	井村	○				30	2	
	社会保障論Ⅱ	講義	岩満		○			30	2	
	高齢者福祉論Ⅱ	講義	中村		○			30	2	
	社会福祉政策論	講義	岩満			○		30	2	
	社会福祉調査論	講義	近藤・桐野			○		30	2	
	福祉専門職論	講義	竹本	○				30	2	
	ソーシャルワークⅠ	講義	竹本		○			30	2	
	ソーシャルワークⅡ	講義	村社			○		30	2	
	ソーシャルワークⅢ	講義	竹本			○		30	2	
	社会福祉調査演習	演習	近藤・桐野			○		30	1	
	地域組織論	講義	井村		○			30	2	
	福祉行財政と福祉計画	講義	井村		○			30	2	
	精神障害者福祉論	講義	坂野			○		30	2	
	エルゴノミクスの基礎	講義	高戸	○				30	2	
	ユニバーサルデザインの理論と実践	講義	高戸			○		30	2	
	生活支援と福祉工学	講義	高戸		○			30	2	
	保健福祉実験演習	演習	高戸・澤田			○		30	1	
	家族福祉論	講義	周防			○		30	2	
	国際福祉論	講義	近藤		○			30	2	
	公的扶助論	講義	岩満			○		30	2	
	保健医療サービス	講義	竹本			○		30	2	
	就労支援サービス	講義	村社			○		15	1	
	権利擁護・成年後見制度	講義	桐野			○		30	2	
	司法福祉論	講義	※藤原			○		15	1	
	教育社会学	講義	近藤				○	30	2	
	精神医学Ⅰ	講義	未定			○		30	2	
	精神医学Ⅱ	講義	未定			○		30	2	
	精神保健Ⅰ	講義	周防			○		30	2	
	精神保健Ⅱ	講義	坂野			○		30	2	
	精神保健ソーシャルワーク論	講義	大倉			○		30	2	
	精神科リハビリテーションⅠ	講義	井上(幸)			○		30	2	
	精神科リハビリテーションⅡ	講義	大倉			○		30	2	
精神保健ソーシャルワーク各論Ⅰ	講義	大倉			○		30	2		
精神保健ソーシャルワーク各論Ⅱ	講義	周防			○		30	2		
精神保健福祉制度論Ⅰ	講義	周防			○		30	2		
精神保健福祉制度論Ⅱ	講義	大倉			○		30	2		
スクールソーシャルワーク論	講義	周防				○	30	2		

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	講単位数	卒業要件単位数	
			1	2	3	4				
専門科目 生活支援領域科目	ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	竹本 他		○			60	2	96 単 位
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	村社・佐藤(ゆ)・井上			○		60	2	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	竹本 他				○	30	1	
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	大倉				○	30	1	
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	大倉				○	30	1	
	スクールソーシャルワーク演習	演習	周防				○	30	1	
	チームガバナビリティ演習	演習	中村 他			○		30	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	竹本 他		○			45	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	竹本 他			○		45	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	実習	竹本 他			○		45	1	
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	坂野・大倉				○	45	1	
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	坂野・大倉				○	45	1	
	スクールソーシャルワーク実習指導	実習	周防				○	45	1	
	ソーシャルワーク実習	実習	竹本 他			○		180	4	
	精神保健ソーシャルワーク実習	実習	坂野・大倉				○	180	4	
スクールソーシャルワーク実習	実習	周防				○	90	2		
専門科目 自立支援領域科目	老年科学	講義	中村・澤田		○			30	2	
	老年医学	講義	藤井	○				30	2	
	認知症論	講義	中村		○			30	2	
	認知症ケア論	講義	佐藤(ゆ)			○		30	2	
	人体の構造と機能Ⅱ	講義	藤井	○				30	2	
	精神保健	講義	周防			○		30	2	
	介護原論	講義	佐藤(ゆ)	○				30	2	
	介護福祉実験演習	演習	高戸・澤田			○		30	1	
	生活とエルゴノミクス	講義	高戸		○			30	2	
	介護管理	講義	藤井				○	15	1	
	介護福祉経営論	講義	※高橋(和)				○	15	1	
	生活維持・活性論	講義	※横田		○			30	2	
	コミュニケーション技術論Ⅰ	演習	佐藤(ゆ)・趙		○			30	1	
	コミュニケーション技術論Ⅱ	演習	佐藤(ゆ)他			○		30	1	
	生活支援技術Ⅰ	演習	趙	○				30	1	
	生活支援技術Ⅱ	演習	趙 他	○				30	1	
	生活支援技術Ⅲ	演習	原野 他	○				30	1	
	生活支援技術Ⅳ	演習	※守屋 他	○				30	1	
	生活支援技術Ⅴ	演習	趙 他	○				60	2	
	生活支援技術Ⅵ	演習	原野	○				30	1	
	福祉用具の活用技術と理論	演習	佐藤(ゆ)	○				30	1	
	家政学演習	演習	山下・※治部		○			30	1	
	住環境科学演習	演習	高戸・※小山			○		30	1	
	介護過程総論	演習	原野	○				30	1	
	介護過程Ⅰ(基礎)	演習	原野		○			30	1	
	介護過程Ⅱ(応用)	演習	原野 他		○			30	1	
	介護過程Ⅲ(実践)	演習	原野・佐藤(ゆ)			○		60	2	
	介護総合演習(導入)	演習	趙 他		○			30	1	
	介護総合演習Ⅰ	演習	趙 他		○			30	1	
	介護総合演習Ⅱ	演習	原野・佐藤(ゆ)・趙			○		30	1	
	介護総合演習Ⅲ	演習	佐藤(ゆ)・趙				○	30	1	
	介護福祉実習Ⅰ	実習	趙		○			90	2	
	介護福祉実習Ⅱ	実習	原野		○			180	4	
介護福祉実習Ⅲ	実習	佐藤(ゆ)他			○		180	4		
医療的ケアⅠ	講義	原野	○				20	1		
医療的ケアⅡ	講義	藤井	○				20	1		
医療的ケアⅢ	講義	原野			○		20	1		
医療的ケア演習Ⅰ	演習	原野			○		30	1		
医療的ケア演習Ⅱ(実地研修)	演習	原野			○		60	2		
多文化介護論	講義	趙	○				30	2		

「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師

資格取得に関しては別表を参照のこと。

学部教育科目の卒業要件単位数 96単位

卒業要件単位数 124単位(共通教育科目の卒業要件28単位を含む)

(5) 科目ナンバリング

授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)		
		略称	英語名称	略称	英語名称	
専門共通科目	保健福祉学入門	IND_IHS-A4-1R-L0	IND	interdisciplinary	IHS	Introduction to Health and Welfare Science Studies
	社会福祉原論	IND_PSW-A4-1R-L1		(学際的)	PSW	Principals of Social Welfare
	地域福祉論	IND_COD-A4-2E-L1			COD	Community Development
	社会保障論 I	IND_SS1-A4-1E-L1			SS1	Social Security I
	高齢者福祉論 I	IND_WA1-A4-1E-L1			WA1	Welfare for the aged I
	障害者福祉論	IND_WPD-A4-1E-L1			WPD	Welfare for Person s with Disabilities
	児童福祉論 I	IND_CP1-A4-1E-L1			CP1	Child Welfare Policy and Practice I
	児童福祉論 II	IND_CP2-A4-2E-L1			CP2	Child Welfare Policy and Practice II
	社会福祉施設経営論	IND_SIM-A4-3E-L1			SIM	Social Welfare Institution Management
	ソーシャルワーク論	IND_SWT-A4-1R-L1			SWT	Social Work Theory
	人体の構造と機能 I	IND_HB1-A4-1R-L1			HB1	Human Structure, Function and Disease I
	身体機能と障害	IND_PFD-A4-2E-L1			PFD	Physical Functions and Disabilities
	知的発達と障害	IND_IDD-A4-2E-L1			IDD	Intellectual Development and Developmental Disorders
	教育基礎論	IND_EDU-A4-1E-L0			EDU	Principles of Education
	臨床心理学	IND_CLI-A4-3E-L0			CLI	Clinical Psychology
	地域保健福祉演習	CBL_RHW-A4-3E-S0	CBL	Community Based Learning	RHW	Practice of Regional Health and Welfare
	入門ゼミナール〔隔週〕	IND_SEM-A4-1R-S0			SEM	Seminar I
	基礎ゼミナール〔隔週〕	IND_SEM-A4-2R-S0			SEM	Seminar II
	専門ゼミナール〔隔週〕	IND_SEM-A4-3R-S0			SEM	Seminar III
	研究ゼミナール	IND_THE-A4-4R-S0			THE	Thesis
生活支援領域科目	社会理論と社会システム	SWS_STS-A4-1R-L1	SWS	Social Work Studies	STS	Social Theory and Social System
	発達心理学	SWS_DEP-A4-2E-L0		(社会福祉学)	DEP	Developmental Psychology
	公衆衛生	SWS_PUH-A4-2E-L0			PUH	Public Health
	社会病理学	SWS_SOP-A4-2E-L0			SOP	Social Pathology
	社会福祉発達史	SWS_HSW-A4-1E-L0			HSW	History of Social Welfare and Social Security
	社会保障論 II	SWS_SS2-A4-2E-L1			SS2	Social Security II
	高齢者福祉論 II	SWS_WA2-A4-2E-L1			WA2	Welfare for the aged II
	社会福祉政策論	SWS_WPO-A4-3E-L1			WPO	Social Welfare Policy
	社会福祉調査論	SWS_SWR-A4-3E-L1			SWR	Social Work Research
	福祉専門職論	SWS_WEP-A4-1E-L1			WEP	Welfare Professions
	ソーシャルワーク I	SWS_SW1-A4-2E-L1			SW1	Social Work I
	ソーシャルワーク II	SWS_SW2-A4-3E-L1			SW2	Social Work II
	ソーシャルワーク III	SWS_SW3-A4-3E-L1			SW3	Social Work III
	社会福祉調査演習	SWS_SRE-A4-3E-S1			SRE	Social Work Research Exercise
	地域組織論	SWS_COR-A4-2E-L1			COR	Community Organization
	福祉行政と福祉計画	SWS_SAP-A4-2E-L1			SAP	Social Welfare Administration and Finance, Social Welfare Planning
	精神障害者福祉論	SWS_WMD-A4-2E-L0			WMD	Welfare for Persons with Mental Disabilities
	エルゴノミクスの基礎	SWS_ERG-A4-1E-L0			ERG	Fundamental Ergonomics / Human Factors
	ユニバーサルデザインの理論と実践	SWS_UDT-A4-3E-L0			UDT	Universal Design Theory and Application
	生活支援と福祉工学	SWS_AAT-A4-2E-L0			AAT	Application of Assistive Technology
	保健福祉実験演習	SWS_CWE-A4-3E-S0			CWE	Care Work Experimental Exercise
	家族福祉論	SWS_FWF-A4-3E-L0			FWF	Family Welfare
	国際福祉論	SWS_ISW-A4-2E-L0			ISW	International Social Welfare
	公的扶助論	SWS_PUA-A4-3E-L1			PUA	Public Assistance
	保健医療サービス	SWS_SSH-A4-3E-L1			SSH	Social Services in Health Care
	就労支援サービス	SWS_ESS-A4-3E-L1			ESS	Employment Support and Welfare Services
	権利擁護・成年後見制度	SWS_HRG-A4-3E-L1			HRG	Human Rights Advocacy and Adult Guardianship
	司法福祉論	SWS_SWL-A4-3E-L1			SWL	Social Welfare Laws
	教育社会学	SWS_SOE-A4_4E-L1			SOE	Sociology of Education
	精神医学 I	SWS_PM1-A4_3E-L1			PM1	Psychiatric Medicine I
	精神医学 II	SWS_PM2-A4_3E-L1			PM2	Psychiatric Medicine II
	精神保健 I	SWS_MH1-A4_3E-L1			MH1	Mental Health I
	精神保健 II	SWS_MH2-A4_3E-L1			MH2	Mental Health II
	精神保健ソーシャルワーク論	SWS_PSW-A4_3E-L1			PSW	Psychiatric Social Work
	精神科リハビリテーション I	SWS_PR1-A4_3E-L1			PR1	Psychiatric Rehabilitation I
	精神科リハビリテーション II	SWS_PR2-A4_3E-L1			PR2	Psychiatric Rehabilitation II
	精神保健ソーシャルワーク各論 I	SWS_SM1-A4_3E-L1			SM1	Social Work in Mental Health I
	精神保健ソーシャルワーク各論 II	SWS_SM2-A4_3E-L1			SM2	Social Work in Mental Health II
	精神保健福祉制度論 I	SWS_SS1-A4_3E-L1			SS1	Social Services for the Mentally Disabled I
	精神保健福祉制度論 II	SWS_SS2-A4_3E-L1			SS2	Social Services for the Mentally Disabled II
	スクールソーシャルワーク論	SWS_SSW-A4_4E-L1			SSW	School Social Work
	ソーシャルワーク演習 I	SWS_WE1-A4-2E-S1			WE1	Social Work Exercise I
	ソーシャルワーク演習 II	SWS_WE2-A4-3E-S1			WE2	Social Work Exercise II
	ソーシャルワーク演習 III	SWS_WE3-A4-4E-S1			WE3	Social Work Exercise III
	精神保健ソーシャルワーク演習 I	SWS_PE1-A4-4E-S1			PE1	Psychiatric Social Work Exercise I
	精神保健ソーシャルワーク演習 II	SWS_PE2-A4-4E-S1			PE2	Psychiatric Social Work Exercise II
	スクールソーシャルワーク演習	SWS_SWE-A4-4E-S1			SWE	School Social Work Exercise
	チームガバナビリティ演習	CBL_TGE-A4-3E-S0	CBL	Community Based Learning	TGE	Team Governability Exercise
	ソーシャルワーク実習指導 I	SWS_LP1-A4-2E-P1			LP1	Leading of Social Work Practice I
	ソーシャルワーク実習指導 II	SWS_LP2-A4-3E-P1			LP2	Leading of Social Work Practice II
ソーシャルワーク実習指導 III	SWS_LP3-A4-3E-P1			LP3	Leading of Social Work Practice III	
精神保健ソーシャルワーク実習指導 I	SWS_PP1-A4-4E-P1			PP1	Leading of Psychiatric Social Work Practice I	
精神保健ソーシャルワーク実習指導 II	SWS_PP2-A4-4E-P1			PP2	Leading of Psychiatric Social Work Practice II	
スクールソーシャルワーク実習指導	SWS_SSP-A4-4E-P1			SSP	Leading of School Social Work Practice	
ソーシャルワーク実習	SWS_SWP-A4-3E-P1			SWP	Social Work Practice	
精神保健ソーシャルワーク実習	SWS_PSP-A4-4E-P1			PSP	Psychiatric Social Work Practice	
スクールソーシャルワーク実習	SWS_SSP-A4-4E-P1			SSP	School Social Work Practice	

授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)		
		略称	英語名称	略称	英語名称	
自立支援領域科目	老年科学	CWS_GER-A4-2E-L1	CWS	Care Work Studies	GER	Gerontology
	老年医学	CWS_GRI-A4-1E-L1		(介護福祉学)	GRI	Geriatrics
	認知症論	CWS_CDD-A4-2E-L1			CDD	Cognitive Disorders and Dementia
	認知症ケア論	CWS_DEC-A4-3E-L1			DEC	Dementia Care
	人体の構造と機能Ⅱ	CWS_HB2-A4-1E-L1			HB2	Structure and Functions in Human Body Ⅱ
	精神保健	CWS_MEH-A4-3E-L1			MEH	Mental Health
	介護原論	CWS_ICW-A4-1E-L1			ICW	Introduction to Care Work
	介護福祉実験演習	CWS_CEE-A4-3E-S1			CEE	Care Work Experimental Exercise
	生活とエルゴノミクス	CWS_EDL-A4-2E-L1			EDL	Ergonomics for Daily Life
	介護管理	CWS_CWM-A4-4E-L1			CWM	Care Work Management
	介護福祉経営論	CWS_CWI-A4-4E-L1			CWI	Care Work Institution Management
	生活維持・活性論	CWS_LMA-A4-2E-L1			LMA	Life Maintenance and Activity Care
	コミュニケーション技術論Ⅰ	CWS_CS1-A4-2E-S1			CS1	Communication Skills Ⅰ
	コミュニケーション技術論Ⅱ	CWS_CS2-A4-3E-S1			CS2	Communication Skills Ⅱ
	生活支援技術Ⅰ	CWS_HL1-A4-1E-S1			HL1	Human Life Care Technique Ⅰ
	生活支援技術Ⅱ	CWS_HL2-A4-1E-S1			HL2	Human Life Care Technique Ⅱ
	生活支援技術Ⅲ	CWS_HL3-A4-1E-S1			HL3	Human Life Care Technique Ⅲ
	生活支援技術Ⅳ	CWS_HL4-A4-1E-S1			HL4	Human Life Care Technique Ⅳ
	生活支援技術Ⅴ	CWS_HL5-A4-1E-S1			HL5	Human Life Care Technique Ⅴ
	生活支援技術Ⅵ	CWS_HL6-A4-1E-S1			HL6	Human Life Care Technique Ⅵ
	福祉用具の活用技術と理論	CWS_ATA-A4-1E-S1			ATA	Application and Theory of Assistive Technologies
	家政学演習	CWS_HEP-A4-2E-S1			HEP	Home Economics Practice
	住環境科学演習	CWS_SDE-A4-3E-S1			SDE	Science of Dwelling Environment and Housing-Exercise
	介護過程総論	CWS_ICP-A4-1E-S1			ICP	Introduction to Care-Work Process
	介護過程Ⅰ(基礎)	CWS_BCW-A4-2E-S1			BCW	Basic Care-Work Process
	介護過程Ⅱ(応用)	CWS_ACW-A4-2E-S1			ACW	Applied Care-Work Process
	介護過程Ⅲ(実践)	CWS_PCW-A4-3E-S1			PCW	Practice Care-Work Process
	介護総合演習(導入)	CWS_ICE-A4-2E-S1			ICE	Introduction to Care Work Exercise
	介護総合演習Ⅰ	CWS_CE1-A4-2E-S1			CE1	Care Work Exercise Ⅰ
	介護総合演習Ⅱ	CWS_CE2-A4-3E-S1			CE2	Care Work Exercise Ⅱ
介護総合演習Ⅲ	CWS_CE3-A4-4E-S1			CE3	Care Work Exercise Ⅲ	
介護福祉実習Ⅰ	CWS_CW1-A4-2E-P1			CW1	Care Work Practice Ⅰ	
介護福祉実習Ⅱ	CWS_CW2-A4-2E-P1			CW2	Care Work Practice Ⅱ	
介護福祉実習Ⅲ	CWS_CW3-A4-3E-P1			CW3	Care Work Practice Ⅲ	
医療的ケアⅠ	CWS_MC1-A4-1E-L1			MC1	Medical Care Ⅰ	
医療的ケアⅡ	CWS_MC2-A4-1E-L1			MC2	Medical Care Ⅱ	
医療的ケアⅢ	CWS_MC3-A4-3E-L1			MC3	Medical Care Ⅲ	
医療的ケア演習Ⅰ	CWS_ME1-A4-3E-S1			ME1	Medical Care Exercise Ⅰ	
医療的ケア演習Ⅱ(実地研修)	CWS_ME2-A4-3E-S1			ME2	Medical Care Exercise Ⅱ	
多文化介護論	CWS_MCW-A4-1E-L1			MCW	Multicultural Care Work	

(6) 資格取得

社会福祉学専攻では、社会福祉士の受験資格(表1)と社会福祉主事の任用資格(表5)が取得できる。これに加えて、精神保健福祉士の受験資格(表2)、介護福祉士の受験資格(表3)、スクールソーシャルワーク教育課程修了証(表4)のいずれかが取得できる。なお、介護福祉士の受験資格のみを単独で取得することもできる。ただし、精神保健福祉士受験資格、介護福祉士受験資格、スクールソーシャルワーカー養成課程の最大定員は各10名であるため、希望者が定員を超えた場合には学科内で選考を行う。介護福祉士受験資格の取得を希望する学生は、**1年次第1Q終了前に決定し、1年次第2Qから自立支援領域の専門科目を履修する。**

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、社会福祉業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回2月に実施される国家試験に合格すれば、社会福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」には「社会福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」と規定されている。

精神保健福祉士は「精神保健福祉士法」で位置づけられた、精神保健福祉業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回2月に実施される国家試験に合格すれば、精神保健福祉士として登録ができる。「精神保健福祉士法」には、「精神保健福祉士とは、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者」と規定されている。

介護福祉士の資格は、「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、介護業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回1月に実施される国家試験に合格すれば、介護福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」では、「介護福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護(喀痰吸引その他のその者が日常生活を営むのに必要な行為であって、医師の指示の下に行われるもの(厚生労働省令で定めるものに限る。))を含む。)を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」と規定されている。

スクールソーシャルワーカーは、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟の規定に定められた認定資格である。本学科において、日本ソーシャルワーク教育学校連盟により指定されているスクールソーシャルワーク教育課程を修了した者であって、社会福祉士登録を受けた者が、「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」としての修了証の交付を受けることができる。スクール(学校)ソーシャルワーカーとは、「学校教育法で定める学校のうち、18歳未満の児童生徒を対象とした学校において、学校及び日常での生活を営む上で課題の解決を要する児童生徒とその家庭及びその児童を取り巻く環境・学校・社会・制度等を対象としたソーシャルワークの業を行う者」とされている。

社会福祉主事は、「社会福祉法」に規定された資格で、基本的には、都道府県、市町村の行政職や福祉職の公務員試験に合格し、福祉事務所などのケースワーカーに採用される場合に活きる任用資格である。また、一定の社会福祉施設的生活支援員等の資格にも準用される。この資格を得るためには、「社会福祉主事に関する指定科目」(表5「社会福祉主事に関する指定科目」)のうち、いずれか3科目を取得する必要がある。

表1 社会福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

厚生労働省告示に定める科目	保健福祉学科開講科目				
	科目	科目	受験資格科目	国家試験科目	時間数
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能 I	3科目のうち 1科目 (※)	○	○	30
心理学理論と心理的支援	心理学		○	○	30
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム		○	○	30
現代社会と福祉	社会福祉原論	○	○	○	30
	社会福祉政策論	○	○	○	30
社会調査の基礎	社会福祉調査論	○	○	○	30
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク論	○	○	○	30
	福祉専門職論	○	○	○	30
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク I	○	○	○	30
	ソーシャルワーク II	○	○	○	30
	ソーシャルワーク III	○	○	○	30
	社会福祉調査演習	○	○	○	30
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	○	○	○	30
	地域組織論	○	○	○	30
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	○	○	○	30
福祉サービスの組織と経営	社会福祉施設経営論	○	○	○	30
社会保障	社会保障論 I	○	○	○	30
	社会保障論 II	○	○	○	30
高齢者に対する支援と 介護保険制度	高齢者福祉論 I	○	○	○	30
	高齢者福祉論 II	○	○	○	30
障害者に対する支援と 障害者自立支援制度	障害者福祉論	○	○	○	30
児童や家庭に対する支援と 児童・家庭福祉制度	児童福祉論 I	○	○	○	30
	児童福祉論 II	○	○	○	30
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	○	○	○	30
保健医療サービス	保健医療サービス	○	○	○	30
就労支援サービス	就労支援サービス	3科目のうち 1科目 (※)	○	○	15
権利擁護と成年後見制度	権利擁護・成年後見制度		○	○	30
更生保護制度	司法福祉論		○	○	15
相談援助演習	ソーシャルワーク演習 I	○	○	○	60
	ソーシャルワーク演習 II	○	○	○	60
	ソーシャルワーク演習 III	○	○	○	30
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導 I	○	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導 II	○	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導 III	○	○	○	45
相談援助実習	ソーシャルワーク実習	○	○	○	180

※受験資格科目としてはこのように定められているが、すべて国家試験科目であり履修すること。

表2 精神保健福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

(「社会福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数」に記載の科目は除く)

厚生労働省告示に定める科目 科目	保健福祉学科開講科目			
	科目	受験資格科目	国家試験科目	時間数
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ	○	○	30
	精神医学Ⅱ	○	○	30
精神保健の課題と支援	精神保健Ⅰ	○	○	30
	精神保健Ⅱ	○	○	30
精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	精神保健ソーシャルワーク論	○	○	30
精神保健福祉の理論と相談援助の 展開	精神科リハビリテーションⅠ	○	○	30
	精神科リハビリテーションⅡ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク各論Ⅰ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク各論Ⅱ	○	○	30
精神保健福祉に関する制度とサー ビス	精神保健福祉制度論Ⅰ	○	○	30
	精神保健福祉制度論Ⅱ	○	○	30
精神障害者の生活支援システム	精神障害者福祉論	○	○	30
精神保健福祉援助演習 (専門)	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	○	30
精神保健福祉援助実習指導	精神保健ソーシャルワーク実習指導 Ⅰ	○	○	45
	精神保健ソーシャルワーク実習指導 Ⅱ	○	○	45
精神保健福祉援助実習	精神保健ソーシャルワーク実習	○	○	180

- (注)
1. 本学では、社会福祉士の受験資格科目(国家試験科目)をすべて履修することを前提にして、精神保健福祉士の授業科目が組みられています。そのため、本学では、上の表に掲げる精神保健福祉士の受験資格科目(国家試験科目)のみを履修しただけでは、精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得することができません。必ず、社会福祉士と精神保健福祉士の両方の受験資格科目(国家試験科目)をすべて履修すること。
 2. 精神保健福祉コース以外の学生は、この表の「厚生労働省告示に定める科目」における「精神保健福祉援助演習(専門)」、「精神保健福祉援助実習指導」、「精神保健福祉援助実習」を履修できない。

表3 介護福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則別表第4に定められる科目			保健福祉学科社会福祉学専攻介護福祉コースにおける開設科目等			備考
領域	教育内容	指定時間数	授業科目等の名称	配当単位数	配当時間数	
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	社会福祉原論	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。
	人間関係とコミュニケーション	60	ソーシャルワークⅠ 社会福祉施設経営論	2 2	30 30	
	社会の理解	60	高齢者福祉論Ⅰ 地域福祉論	2 2	30 30	
	人間と社会に関する選択科目		権利擁護・成年後見制度 自然科学要論 社会保障論Ⅰ	2 2 2	30 30 30	
介護	介護の基本	180	介護原論	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。
			介護福祉実験演習	1	30	
			多文化介護論	2	30	
			生活とエルゴノミクス	2	30	
			介護管理	1	15	
			介護福祉経営論	1	15	
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーション技術論Ⅰ	1	30	
			コミュニケーション技術論Ⅱ	1	30	
	生活支援技術	300	福祉用具の活用技術と理論	1	30	
			生活支援技術Ⅰ	1	30	
			生活支援技術Ⅱ	1	30	
			生活支援技術Ⅲ	1	30	
			生活支援技術Ⅳ	1	30	
			生活支援技術Ⅴ	2	60	
			生活支援技術Ⅵ	1	30	
			家政学演習 住環境科学演習	1 1	30 30	
	介護過程	150	介護過程総論	1	30	
			介護過程Ⅰ(基礎)	1	30	
			介護過程Ⅱ(応用)	1	30	
			介護過程Ⅲ(実践)	2	60	
介護総合演習	120	介護総合演習(導入)	1	30		
		介護総合演習Ⅰ	1	30		
		介護総合演習Ⅱ	1	30		
		介護総合演習Ⅲ	1	30		
介護実習	450	介護福祉実習Ⅰ	2	90		
		介護福祉実習Ⅱ	4	180		
		介護福祉実習Ⅲ	4	180		
こころとからだのしくみ	120	人体の構造と機能Ⅰ	2	30		
		人体の構造と機能Ⅱ	2	30		
		精神保健	2	30		
		心理学	2	30		
		発達と老化の理解	60	老年科学	2	30
				老年医学	2	30
		認知症の理解	60	認知症論	2	30
				認知症ケア論	2	30
障害の理解	60	身体機能と障害	2	30		
		知的発達と障害	2	30		
医療的ケア	50	医療的ケアⅠ	1	20	医療的ケアのうち、医療的ケア演習Ⅱは選択とする。	
		医療的ケアⅡ	1	20		
		医療的ケアⅢ	1	20		
		所定回数	医療的ケア演習Ⅰ 医療的ケア演習Ⅱ(実地研修)	1 2		30 60

(注) 1. 介護福祉士資格取得を希望する者は、介護福祉コースに在籍し、上記に定める科目のうち「医療的ケア演習Ⅱ」を除く全ての科目及び単位を修得することにより介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる。
 2. 介護福祉コース以外の学生は、この表の領域「介護」「医療的ケア」の授業科目を履修できない。
 3. 上記に定める科目の出席時間数が指定規則に定める時間数の3分の2(ただし、介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の単位を認定しない。
 4. 介護福祉コースへの転学(編入学を含む。)及び移籍は認めない。
 ※法令等の改正により、変更が生じた場合には別途通知する。

表4 スクールソーシャルワーク教育課程に関する指定科目

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育 学校連盟が定める科目名	保健福祉学科開講科目		
	科目	認定資格科目	時間数
スクール（学校）ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	○	30
スクール（学校）ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	○	30
スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	○	45
スクール（学校）ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	○	90
教育基礎論などに関する科目「教育に関する社会的、制度または経営事項」を含む	教育社会学	○	30
教育基礎論などに関する科目「幼児、児童生徒の心身の発達および学習家庭」を含む	発達心理学	○	30
精神保健の課題と支援	精神保健 I	○	30

(注) スクールソーシャルワークコース以外の学生は、この表の「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が定める科目名」における「スクール（学校）ソーシャルワーク演習」、「スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導」、「スクール（学校）ソーシャルワーク実習」を履修できない。

表5 社会福祉主事に関する指定科目

指定科目	保健福祉学科開講科目	指定科目	保健福祉学科開講科目
社会福祉概論	社会福祉原論	法学	法学(共通教育科目)
社会福祉事業史	社会福祉発達史	民法	なし
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク論	行政法	なし
社会福祉調査論	社会福祉調査論	経済学	経済学(共通教育科目)
社会福祉施設経営論	社会福祉施設経営論	社会政策	なし
社会福祉行政論	福祉行財政と福祉計画	経済政策	なし
社会保障論	社会保障論 I、II	心理学	心理学(共通教育科目)
公的扶助論	公的扶助論	社会学	社会理論と社会システム
児童福祉論	児童福祉論 I、II	教育学	なし
家庭福祉論	なし	倫理学	倫理学(共通教育科目)
保育理論	保育原理 I、II	公衆衛生学	公衆衛生
身体障害者福祉論	障害者福祉論	医学一般	人体の構造と機能 I
知的障害者福祉論	知的発達と障害	リハビリテーション論	なし
精神障害者保健福祉論	精神障害者福祉論	看護学	看護の世界(他学科教育科目)
老人福祉論	高齢者福祉論 I、II	介護概論	介護原論
医療社会事業論	なし	栄養学	栄養学総論(他学科教育科目)
地域福祉論	地域福祉論	家政学	なし

(7) 学外実習科目の履修要件

以下の実習科目を履修するためには、それぞれ以下の要件を満たす必要がある。また、事前に大学で規定する健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等の検査を受け、実習に支障のない状態であることが確認できることが必要である。

① ソーシャルワーク実習

ソーシャルワーク実習は、以下のすべての要件を満たすことを履修要件とする。

- ・ソーシャルワーク実習の履修前年度の前期までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目がすべて単位認定されていること。
- ・ソーシャルワーク演習Ⅰおよびソーシャルワーク実習指導Ⅰにおいて原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出がすべて行われていること。
- ・あらゆる領域・分野の対象者に関心を持って勉学に勤しみ、資格取得の意欲をもって実習に臨むこと。

② 精神保健ソーシャルワーク実習

4年次に精神保健ソーシャルワーク実習を履修する学生は、以下の全ての要件を満たす事を原則とする。

- ・3年次までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・3年次までに開講されている精神保健福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・4年次開講の精神保健福祉士国家試験受験科目のうち演習および実習指導に関する科目において原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出が全て行われていること。

③ 介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲ

各実習を履修する場合は、以下の要件を満たすことを原則とする。

- ・介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲのそれぞれの実習までに開講されている介護福祉士国家試験受験科目のうち、介護領域の科目が履修及び認定されていることを原則とする。
- ・介護福祉士国家試験受験科目については、原則欠席がないこととする。
- ・学校保健法による出席停止に該当しないこと、その他実習に支障のない健康状態であることとする。

④ スクールソーシャルワーク実習

4年次にスクールソーシャルワーク実習を履修する学生は、以下の全ての要件を満たすことを原則とする。

- ・3年次までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・3年次までに開講されているスクールソーシャルワーク教育課程科目が全て単位認定されていること。
- ・4年次開講のスクールソーシャルワーク教育課程科目のうち演習および実習指導に関する科目において原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出が全て行われていること。

(9) 履修モデル例

国家・地方公務員（福祉事務所・児童相談所・教育委員会等）や社会福祉協議会の ソーシャルワーカーをめざす場合

国家・地方公務員や社会福祉協議会のソーシャルワーカーは、国の保護観察所、更生保護施設や都道府県庁、児童相談所、市町村の福祉事務所、社会福祉協議会で保護教官、ケースワーカー、児童福祉司などとして、更生援護や障害者・高齢者・児童の相談・調査・指導などを行います。そのため、行政福祉や地域福祉の知識だけでなく国内外の社会情勢を理解する力、制度・サービスが開発できる力、他職種と連携できる力などが求められます。そこで社会福祉士受験資格科目以外にもエルゴノミクス、国際福祉論、臨床心理学などを学び、幅広い知識を身につけて、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。また、教育委員会でスクールソーシャルワーカーとして児童生徒とその家庭等を対象としたソーシャルワークを行うためには、下表に加えてスクールソーシャルワーク教育課程に関する指定科目（表4）の履修が必要です。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5	1				
フレッシュマンセミナー	1	ELP6	1				
人文・社会科学要論	2	心理学☆	2				
自然科学要論	2						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
ELP1	1						
ELP2	1						
ELP3	1						
ELP4	1						
人文・社会科学より	4						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
全カテゴリーより	2						
小計	24	小計	4	小計	0	小計	0
						小計	28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。立体太字は必修科目を示す。 【人文・社会科学】から4単位は、「経済学」、「法学」を履修することが望ましい。 【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。 【健康科学】から4単位のうち、2単位は「健康心理学」を履修することが望ましい。 【全カテゴリー】から2単位のうち、1単位は「海外研修（保健福祉学）」を履修することが望ましい。 							

学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
入門ゼミナール	1	基礎ゼミナール	1	専門ゼミナール	1	研究ゼミナール	4
保健福祉学入門	2	ソーシャルワークⅠ☆	2	社会福祉施設経営論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ☆	1
人体の構造と機能Ⅰ☆	2	地域福祉論☆	2	公的扶助論☆	2		
社会福祉原論☆	2	児童福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ☆	1		
ソーシャルワーク論☆	2	高齢者福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワークⅡ☆	2		
社会理論と社会行動☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ☆	1	就労支援サービス☆	1		
障害者福祉論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ☆	2	司法福祉論☆	1		
児童福祉論Ⅰ☆	2	地域組織論☆	2	社会福祉政策論☆	2		
高齢者福祉論Ⅰ☆	2	福祉行政と福祉計画☆	2	保健医療サービス☆	2		
福祉専門職論☆	2	社会保障論Ⅱ☆	2	権利擁護・成年後見制度☆	2		
社会保障論Ⅰ☆	2	発達心理学	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ☆	2		
社会福祉発達史	2	社会病理学	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ☆	1		
エルゴノミクスの基礎	2	身体機能と障害	2	社会福祉調査論☆	2		
		知的発達と障害	2	ソーシャルワークⅢ☆	2		
		国際福祉論	2	社会福祉調査演習☆	1		
		生活支援と福祉工学	2	ソーシャルワーク実習☆	[4]		
				臨床心理学	2		
				ユニバーサルデザインの	2		
				理論と実践			
				家族福祉論	2		
				精神保健Ⅰ	2		
小計	25	小計	30	小計	32	小計	5
						小計	92
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>92単位(+実習4単位)=120単位(+4単位) <合計124単位>							
<1年次>49単位、<2年次>34単位、<3年次>32単位(+4単位)、<4年次>5単位 ・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・ 立体太字 は卒業必修科目を示す。 ・☆マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(61単位+実習4単位、うち必修科目は10単位) ・斜体活字は、国家・地方公務員(福祉事務所・児童相談所・教育委員会等)や社会福祉協議会のソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・[]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

医療機関のソーシャルワーカーをめざす場合①

医療機関のソーシャルワーカーは、保健医療分野でソーシャルワークを行う福祉専門職で、傷病に伴って生じる生活上の問題・課題を抱える人の援助を行っています。そのため、保健・医療の知識はもちろんのこと患者の心理や社会的背景を理解する力が必要となってきます。そこで、社会福祉士受験資格科目以外にも社会病理学、チームガバナビリティ演習などを学び、幅広い知識を身につけて、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5	1				
フレッシュマンセミナー	1	ELP6	1				
人文・社会科学要論	2	心理学☆	2				
自然科学要論	2						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
ELP1	1						
ELP2	1						
ELP3	1						
ELP4	1						
人文・社会科学より	4						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
全カテゴリーより	2						
小計	2	小計	4	小計	0	小計	0
	4						
小計							28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。立体太字は必修科目を示す。 【人文・社会科学】から4単位は、「経済学」、「法学」を履修することが望ましい。 【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。 【健康科学】から4単位のうち、2単位は「健康心理学」を履修することが望ましい。 【全カテゴリー】から2単位のうち、1単位は「海外研修（保健福祉学）」を履修することが望ましい。 							

学部教育科目							
1年次	単 位	2年次	単 位	3年次	単 位	4年次	単 位
入門ゼミナール	1	基礎ゼミナール	1	専門ゼミナール	1	研究ゼミナール	4
保健福祉学入門	2	ソーシャルワークⅠ☆	2	社会福祉施設経営論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ☆	1
人体の構造と機能Ⅰ☆	2	地域福祉論☆	2	公的扶助論☆	2		
社会福祉原論☆	2	児童福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ☆	1		
ソーシャルワーク論☆	2	高齢者福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワークⅡ☆	2		
社会理論と社会システム☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ☆	1	就労支援サービス☆	1		
障害者福祉論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ☆	2	司法福祉論☆	1		
児童福祉論Ⅰ☆	2	地域組織論☆	2	社会福祉政策論☆	2		
高齢者福祉論Ⅰ☆	2	福祉行政と福祉計画☆	2	保健医療サービス☆	2		
福祉専門職論☆	2	社会保障論Ⅱ☆	2	権利擁護・成年後見制度☆	2		
社会保障論Ⅰ☆	2	発達心理学	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ☆	2		
社会福祉発達史	2	社会病理学	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ☆	1		
老年医学	2	公衆衛生	2	社会福祉調査論☆	2		
人体の構造と機能Ⅱ	2	知的発達と障害	2	ソーシャルワークⅢ☆	2		
		国際福祉論	2	社会福祉調査演習☆	1		
				ソーシャルワーク実習☆	[4]		
				臨床心理学	2		
				精神保健ソーシャルワ ーク論	2		
				家族福祉論	2		
				精神医学Ⅰ	2		
				精神保健福祉制度論Ⅰ	2		
				チームバリエーション演習	1		
小計	27	小計	28	小計	35	小計	5
						小計	95
備考 <共通教育科目> 28単位 + <学部教育科目> 95単位 (+実習4単位) = 123単位 (+4単位) <合計127単位> <1年次> 51単位、<2年次> 32単位、<3年次> 35単位 (+4単位)、<4年次> 5単位							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・ 立体太字は卒業必修科目を示す。 ・ ☆マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(61単位+実習4単位、うち必修科目は10単位) ・ 斜体活字は、医療機関のソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・ []は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照) 							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

医療機関のソーシャルワーカーをめざす場合②

医療機関の中でも精神科領域のソーシャルワーカーは、病院や保健所等で精神疾患に伴って生じる生活上の問題・課題を抱える人の援助を行っています。そのため、精神保健・医療の知識はもちろんのこと患者の心理や社会的背景を理解する力が必要となってきます。そこで、社会福祉士受験資格科目に加え、社会病理学、国際福祉論などの科目、さらには精神保健福祉士の受験資格科目を学び、幅広い知識を身につけて、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5	1				
フレッシュマンセミナー	1	ELP6	1				
人文・社会科学要論	2	心理学☆	2				
自然科学要論	2						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
ELP1	1						
ELP2	1						
ELP3	1						
ELP4	1						
人文・社会科学より	4						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
全カテゴリーより	2						
小計	24	小計	4	小計	0	小計	0
小計							28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育選択科目は12単位以上を修得すること（斜体活字は選択科目を示す）。立体太字は必修科目を示す。 【人文・社会科学】から4単位は、「経済学」、「法学」を履修することが望ましい。 【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。 【健康科学】から4単位のうち、2単位は「健康心理学」を履修することが望ましい。 【全カテゴリー】から2単位のうち、1単位は「海外研修（保健福祉学）」を履修することが望ましい。 							

学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
入門ゼミナール	1	基礎ゼミナール	1	専門ゼミナール	1	研究ゼミナール	4
保健福祉学入門	2	ソーシャルワークⅠ☆	2	社会福祉施設経営論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ☆	1
人体の構造と機能Ⅰ☆	2	地域福祉論☆	2	公的扶助論☆	2	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ*	1
社会福祉原論☆	2	児童福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワーク実習Ⅱ☆	1	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ*	1
ソーシャルワーク論☆	2	高齢者福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワークⅡ☆	2	精神保健ソーシャルワーク実習Ⅰ*	1
社会理論と社会システム☆	2	ソーシャルワーク実習Ⅰ☆	1	就労支援サービス☆	1	精神保健ソーシャルワーク実習Ⅱ*	1
障害者福祉論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ☆	2	司法福祉論☆	1	精神保健ソーシャルワーク実習*	[4]
児童福祉論Ⅰ☆	2	地域組織論☆	2	社会福祉政策論☆	2		
高齢者福祉論Ⅰ☆	2	福祉行財政と福祉計画☆	2	保健医療サービス☆	2		
福祉専門職論☆	2	社会保障論Ⅱ☆	2	権利擁護・成年後見制度☆	2		
社会保障論Ⅰ☆	2	社会病理学	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ☆	2		
エルゴノミクスの基礎	2	身体機能と障害	2	ソーシャルワーク実習Ⅲ☆	1		
		知的発達と障害	2	社会福祉調査論☆	2		
		国際福祉論	2	ソーシャルワークⅢ☆	2		
				社会福祉調査演習☆	1		
				ソーシャルワーク実習☆	[4]		
				精神医学Ⅰ*	2		
				精神医学Ⅱ*	2		
				精神保健Ⅰ*	2		
				精神保健Ⅱ*	2		
				精神保健ソーシャルワーク論*	2		
				精神保健リハビリテーションⅠ*	2		
				精神保健リハビリテーションⅡ*	2		
				精神保健ソーシャルワーク各論Ⅰ*	2		
				精神保健ソーシャルワーク各論Ⅱ*	2		
				精神保健福祉制度Ⅰ*	2		
				精神保健福祉制度Ⅱ*	2		
				精神障害者福祉論*	2		
小計	23	小計	26	小計	48	小計	9
小計							106
<p>備考 <共通教育科目> 28単位 + <学部教育科目> 106単位 (+実習8単位) = 134単位 (+8単位) <合計142単位></p> <p><1年次> 47単位、<2年次> 30単位、<3年次> 48単位 (+4単位)、<4年次> 9単位 (+4単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・立体太字は卒業必修科目を示す。 ・☆マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(61単位+実習4単位、うち必修科目は10単位) ・*マークがついている斜体活字は、精神保健福祉士受験資格科目(32単位)を示す(社会福祉士科目は除く)。 ・斜体活字は、病院や保健所等の精神保健ソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・[]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照) 							
<p>履修上の注意</p> <p>卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通教育科目(96単位)、計124単位である。</p> <p>1年間の単位の上限は56単位である。</p> <p>実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。</p> <p>4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。</p>							

高齢者・障害者福祉機関のソーシャルワーカーをめざす場合

高齢者・障害者福祉機関のソーシャルワーカーは、高齢者・障害者の生活相談や施設入退所の相談や手続き、ケアプランの作成支援などを行います。そのために、高齢者・障害者福祉のほか保健・医療・司法の幅広い知識が求められます。そこで社会福祉士受験資格科目以外にも公衆衛生、精神障害者福祉論、生活支援と福祉工学などを学び、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5	1				
フレッシュマンセミナー	1	ELP6	1				
人文・社会科学要論	2	心理学☆	2				
自然科学要論	2						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
ELP1	1						
ELP2	1						
ELP3	1						
ELP4	1						
人文・社会科学より	4						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
全カテゴリーより	2						
小計	2	小計	4	小計	0	小計	0
	4						
小計							28
備考							
<p>・共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。立体太字は必修科目を示す。</p> <p>【人文・社会科学】から4単位は、「経済学」、「法学」を履修することが望ましい。</p> <p>【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。</p> <p>【健康科学】から4単位のうち、2単位は「健康心理学」を履修することが望ましい。</p> <p>【全カテゴリー】から2単位のうち、1単位は「海外研修（保健福祉学）」を履修することが望ましい。</p>							

学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
入門ゼミナール	1	基礎ゼミナール	1	専門ゼミナール	1	研究ゼミナール	4
保健福祉学入門	2	ソーシャルワークⅠ☆	2	社会福祉施設経営論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ☆	1
人体の構造と機能Ⅰ☆	2	地域福祉論☆	2	公的扶助論☆	2		
社会福祉原論☆	2	児童福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ☆	1		
ソーシャルワーク論☆	2	高齢者福祉論Ⅱ☆	2	ソーシャルワークⅡ☆	2		
社会理論と社会福祉☆	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ☆	1	就労支援サービス☆	1		
障害者福祉論☆	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ☆	2	司法福祉論☆	1		
児童福祉論Ⅰ☆	2	地域組織論☆	2	社会福祉政策論☆	2		
高齢者福祉論Ⅰ☆	2	福祉行政と福祉計画☆	2	保健医療サービス☆	2		
福祉専門職論☆	2	社会保障論Ⅱ☆	2	権利擁護・成年後見制度☆	2		
社会保障論Ⅰ☆	2	発達心理学	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ☆	2		
社会福祉発達史	2	社会病理学	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ☆	1		
エルゴノミクスの基礎	2	公衆衛生	2	社会福祉調査論☆	2		
老年医学	2	知的発達と障害	2	ソーシャルワークⅢ☆	2		
人体の構造と機能Ⅱ	2	国際福祉論	2	社会福祉調査演習☆	1		
		生活支援と福祉工学	2	ソーシャルワーク実習☆	[4]		
		老年科学	2	臨床心理学	2		
		認知症論	2	ユニバーサルデザインの理論と実践	2		
				精神障害者福祉論	2		
				家族福祉論	2		
				精神保健Ⅰ	2		
				保健福祉実験演習	1		
				認知症ケア論	2		
小計	29	小計	34	小計	37	小計	5
						小計	105
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>105単位(+実習4単位)=133単位(+4単位)<合計137単位>							
<ul style="list-style-type: none"> <1年次>53単位、<2年次>38単位、<3年次>37単位(+4単位)、<4年次>5単位 ・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・立体太字は卒業必修科目を示す。 ・☆マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(61単位+実習4単位、うち必修科目は10単位) ・斜体活字は、高齢者・障害者福祉機関のソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・[]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照) 							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

高齢者・障害者施設従事者をめざす場合

高齢者・障害者福祉機関のソーシャルワーカーをめざす学生のなかで、介護福祉の知識や技術を身に付けたい学生や、高齢者・障害者施設の介護福祉職も検討している学生は、社会福祉学系の科目に加え、生活支援、介護過程等の「介護領域」、認知症や障害の理解等の「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」等を履修し、専門的知識や技術を身につけるとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5	1				
フレッシュマンセミナー	1	ELP6	1				
人文・社会科学要論	2	心理学	2				
自然科学要論	2	人文・社会科学より	4				
社会連携要論	1	自然科学より	2				
地域資源論	1	健康科学より	4				
ELP1	1	全カテゴリーより	2				
ELP2	1						
ELP3	1						
ELP4	1						
小計	12	小計	16	小計	0	小計	0
小計							28
備考							
<p>・共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。立体太字は必修科目を示す。</p> <p>【人文・社会科学】から4単位は、「経済学」、「法学」を履修することが望ましい。</p> <p>【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。</p> <p>【健康科学】から4単位のうち、2単位は「健康心理学」を履修することが望ましい。</p> <p>【全カテゴリー】から2単位のうち、1単位は「海外研修（保健福祉学）」を履修することが望ましい。</p>							

学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
入門ゼミナール	1	基礎ゼミナール	1	専門ゼミナール	1	研究ゼミナール	4
保健福祉学入門	2	ソーシャルワーク I	2	社会福祉施設経営論	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1
人体の構造と機能 I	2	地域福祉論	2	公的扶助論	2	*介護管理	(1)
社会福祉原論	2	児童福祉論Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	*介護福祉経営論	(1)
ソーシャルワーク論	2	高齢者福祉論Ⅱ	2	ソーシャルワークⅡ	2	*介護総合演習Ⅲ	(1)
社会理論と社会システム	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	就労支援サービス	1		
障害者福祉論	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	司法福祉論	1		
児童福祉論Ⅰ	2	地域組織論	2	社会福祉政策論	2		
高齢者福祉論Ⅰ	2	福祉行政と福祉計画	2	保健医療サービス	2		
福祉専門職論	2	社会保障論Ⅱ	2	権利擁護・成年後見制度	2		
社会保障論Ⅰ	2	*知的発達と障害	(2)	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		
*介護原論	(2)	*身体機能と障害	(2)	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1		
*多文化介護論	(2)	*介護総合演習(導入)	(1)	社会福祉調査論	2		
*生活支援技術Ⅰ	(1)	*コミュニケーション技術論Ⅰ	(1)	ソーシャルワークⅢ	2		
*生活支援技術Ⅱ	(1)	*老年科学	(2)	社会福祉調査演習	1		
*生活支援技術Ⅲ	(1)	*認知症論	(2)	ソーシャルワーク実習	[4]		
*生活支援技術Ⅳ	(1)	*介護過程Ⅰ	(1)	*介護総合演習Ⅱ	(1)		
*生活支援技術Ⅴ	(2)	*介護総合演習Ⅰ	(1)	*介護福祉実験演習	(1)		
*生活支援技術Ⅵ	(1)	*生活維持・活性論	(2)	*コミュニケーション技術論Ⅱ	(1)		
*人体の構造と機能Ⅱ	(2)	*介護過程Ⅱ	(1)	*住環境科学演習	(1)		
*医療的ケアⅠ	(1)	*生活とエルゴノミクス	(2)	*認知症ケア論	(2)		
*医療的ケアⅡ	(1)	*家政学演習	(1)	*精神保健	(2)		
*福祉用具の活用技術と理論	(1)	*介護福祉実習Ⅰ	[2]	*介護過程Ⅲ	(2)		
*老年医学	(2)	*介護福祉実習Ⅱ	[4]	*医療的ケアⅢ	(1)		
*介護過程総論	(1)			*医療的ケア演習Ⅰ	(1)		
				*介護福祉実習Ⅲ	[4]		
				医療的ケア演習Ⅱ	2		
				ユニバーサルデザインの理論と実践	2		
				精神障害者福祉論	2		
小計	42 (21)	小計	34 (16)	小計	42 (12)	小計	8 (3)
						小計	126 (52)
備考<共通教育科目>28単位+<学部教育科目>126単位(+実習8単位)=154単位(+8単位)<合計162単位>							
<1年次>66単位、<2年次>40単位、<3年次>40単位(+8単位)、<4年次>8単位 ・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・ 立体太字 は必修科目を示す。 ・立体活字は社会福祉士国家試験受験資格科目を示す。 ・*付立体活字は介護福祉士国家試験受験資格科目を示す(社会福祉士国家試験受験資格科目でもある科目には付けていない)。 ・()は介護福祉士国家試験受験資格科目の単位数を示す。 ・斜体活字は、高齢者・障害者施設従事者をめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・[]は実習科目の単位数であり、履修小計に含んでいない(下欄履修上の注意参照)。							
履修上の注意							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							